

## 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成21年  
龍源寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受  
1/4～1/7 年始挨拶  
※1/10 年賀寺例  
※2/3 大節分会  
※2/15 釈尊涅槃会  
※3/8 大般若・大施食会法要  
※3月中旬 筆供養法要  
3/17～3/23 春季彼岸会  
3/23 旧蚕影山例祭日  
※4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
こでん報恩供養及び講演会  
4/29  
大施食会兼蚕影山例祭法要  
6/14 本尊様抜魂供養法要  
7/13～7/16  
京浜地区檀信徒棚経  
※7/29～7/30  
第28回子供禪の集い  
8/2 夏季おてんま  
※8/10 中元寺例  
8/13～8/16 孟蘭盆会  
9/20～9/26 秋季彼岸会  
※10/12檀信徒参拝研修旅行  
12月上旬 冬季おてんま  
※12/8 釈尊成道会  
※12/10 歳暮寺例  
※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室  
※毎週水曜日 定例坐禅会  
※隔週水曜日  
梅花講・琴教室・華道教室  
※は、御本寺仁叟寺にて開催  
※宗務所執務日は月水金

## 御本尊様修復中

今年4月29日に執り行われました当寺大施食会法要及び蚕影山例祭祈禱会終了後の檀信徒総会の席上、本尊様の修復計画についてのご提案をさせていただきました。結果、ご諒解を賜り、今年一年を目処に修復事業の遂行をさせていただくこととなりました。



↑ 本尊様抜魂法要（於、本堂6月14日）

修復に先立ちまして、去る6月14日（日）に臨時総代世話人会議が、当寺本堂にて行われました。その際に本尊様修復にあたって抜魂供養法要を営みました。その翌15日に、新潟県長岡市に本社のある株式会社放光様の仏師により修復がなされるとのことで、本堂を出発されました。

本尊様は早ければ8月の孟蘭盆会までには修復ができるとのことです。また、その間の本尊様として、吉井町長根地区にあったと伝わっております仁叟寺末寺である松林寺（現在は廃寺）の観音菩薩立像が龍源寺に祀られておりますので、その御代理を務めていただいております。

当修復事業につきましては、先般、檀信徒の皆様方におかれましてはご通知を送付させていただきました。お蔭様で現在まで8割を超える多数の方々のご理解とご賛同を頂戴し、貴重なご寄進を賜りました。謹んで感謝の意を表します。

なお、来年4月29日に行われます恒例の当寺大施食会法要及び蚕影山例祭祈禱会の際に、開眼法要を修行させていただこうと思っております。



御代理を務める観音菩薩坐像 ↑

## 中曽根外務大臣来山

6月、地元選出の国会議員であり外務大臣の中曽根弘文氏が仁叟寺に来山され、参拝をいたしました。檀家の木野内恒男氏の亡父が中曽根康弘元総理大臣の秘書を長きに亘って務められ、そのご縁もあり当山への拝登となりました。

以前より、中曽根大臣は、元旦の年賀や2月3日に行われます恒例の「仁叟寺大節分会」にも見えられたりし、拙寺との関係は深いものがあります。また、先代の康弘元総理は、再中興開基であります



↑ 中曽根弘文外務大臣を囲んで（仁叟寺本堂）

← 参拝をする大臣  
故寺本欣正サンコーグループ会長の葬儀委員長でもありました。

大臣はまた、麻生内閣では外務大臣を務め、地域のためだけでなく国ひいては世界のために多忙を極めた毎日をご過ごしておられます。今回の参拝は住職・副住職・井上総代長のほか木野内氏をはじめ寺院関係者が見守る中、本尊様に手を合わせていただきました。



だいせいきえ こかげさんれいさいえんじょう

## 龍源寺大施食会・蚕影山例祭圓成

講演の様子（講師・藤岡警察署・高橋利夫生活安全課長）↓

龍源寺恒例の行事であります大施食会・蚕影山例祭祈祷会も本年も4月29日（昭和の日）に無事務めさせていただきました。また法要修了後には、檀信徒総会も開催。席上、本尊様の修復計画についてのご提案をさせていただいたところ、快諾を賜りました。（一面参照）

また、法要前の講演では、昨年秋に吉井町仏教会と藤岡警察署が締結した「安全・安心まちづくりの推進に関する覚書」に基づき、同署の高橋利夫生活安全課長が振り込め詐欺などの被害防止を参加者に呼び掛けました。特に今回は龍源寺で初の試みとなるDVDプロジェクターを使用し、視聴覚からも訴えることができました。

ほか、地元上毛新聞でも大きく取り上げてくださりました（最終面参照）。龍源寺の象徴ともいえる法会で長く伝わる行事でございますが、こういったかたちで取り上げていただき、感謝しております。

檀信徒の方々はもちろん、近隣の住職副住職様方、梅花講の皆様方、講師・記者など関係者各位にはお世話になりました。ありがとうございました。

来年の同法要では、現在修復中の本尊様はじめ仏像の開眼供養を合わせて行うことを考えております。多くの方々のご参加を切に祈念申し上げます。



## 仁叟寺通信-27-

しゅえいじん

### 「朱穎人画伯中国画」

平成7年（1995）に朱穎人・朱鏢親子による中国画展覧会「ほとけと花」が、仁叟寺及び高崎シティギャラリー、伊香保温泉ホテル天坊にて行われました。朱画伯は中国画の権威であるばかりでなく中国浙江省杭州にある中国美術学院教授も務めております。

本年7月に、北京の中国美術館にて個展が開催され、副住職が開会式にも参列いたしました。当美術館は中国を代表する美術館で非常に名誉であるとのこと。式典も盛会裡に行われ、多数の方々が見学に訪れておりました。

なお、氏の中国画は仁叟寺にも多数現存してあります。



↑ 「蓮」朱穎人筆・仁叟寺蔵  
↓ 仁叟寺での展示会の様子



きょくろく

## 龍源寺探索-24- 「曲 泉」



今回の探索は「曲泉」を紹介いたします。曲泉とは、仏

← 龍源寺の曲泉  
↓ 曲泉の銘



具であり、改まった儀礼や葬儀などの法要で、導師などが使用する木製の唐風な椅子のことを指します。

当寺には朱塗木製の曲泉が一脚あります。大施食会をはじめとする大法要に使用いたします。裏面に「為 慈雲松繁居士 正純帰道居士 菩提供養 昭和五十四年（1979）春彼岸 施主 篠崎昭」と銘があります。

## 住所が変更となります

去る6月1日に吉井町は高崎市と合併いたしました。それを受けて、下記の通り当寺の住所が変更となります。関係者各位には、宜しくご訂正の程、お願い申し上げます。尚、変更は住所のみであり、郵便番号・電話番号・FAX番号等の変更はございません。

また、私事ですが、高崎市吉井地域審議会審議委員を拝命いたしました。地域のために微力ではありますが尽力させていただく所存でございます。

→ 審議委員委嘱状



群馬県多野郡吉井町大字多胡776から群馬県高崎市吉井町多胡776に変更となります。多野郡が高崎市となり、大字表記がなくなりま

## 新聞で紹介されました

蚕に感謝し供養 近隣住職や檀家ら100人 龍源寺で例祭 吉井

上毛新聞地域面5/13

蚕の供養をする蚕影山（こかげさん）例祭が、吉井町多胡の龍源（りゅうげん）寺（渡辺龍道住職）で行われ、檀家（だんか）ら約百人が法要に参列した。

例祭は、蚕の供養と養蚕の発展と、その恩恵に対する報恩を目的に江戸時代から行われたとされる。明治時代には富岡の養蚕農家など、近隣からも参詣に訪れる人がいたという。今は養蚕農家が大幅に減ってしまったが、地元の檀家らによって受け継がれている。

例祭では、檀家の女性が鈴などを使って御詠歌を唱え、近隣の住職十五人が読経し、蚕の供養をした。

また、昨年秋に吉井町仏教会と藤岡署が締結した「安全・安心まちづくりの推進に関する覚書」に基づき、同署の高橋利夫生活安全課長が振り込め詐欺などの被害防止を参加者に呼び掛けた。



古い携帯電話「供養」

吉井の仁叟寺 リサイクル研究に活用

上毛新聞社会面4/9

吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で八日、使い終わった携帯電話やファクスなどの小型電子機器に感謝し、リサイクルも進めるユニークな「こでん供養」が初めて営まれた。

同寺が東京都の非鉄金属会社「DO WAエコシステム」の協力を得て開いた。呼び掛けに応じた檀信徒や地域住民らから携帯電話、家庭用ファクス、デジタルカメラなど約二百点が寄せられた。集まった機器類は同社が東北大などと進めているレアメタル・リサイクルの研究に役立てられる。

供養では積み上げられた機器類を前に渡辺住職が読経。檀家の女性らが御詠歌を唱える中、約八十人の参列者が身近で役立ってくれた携帯電話などへの感謝を込めて次々と焼香していた。

渡辺龍道副住職は「寺の環境への貢献として針供養をイメージして企画した。可能であれば来年以降も続けていきたい」と話している。供養の後、同社企画室担当部長の仲雅之さんが金属のリサイクルについて講演した。



## 行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

暑中お見舞い申し上げます。さて、拙寺では今年は特に御本尊様修復という大事業を行っております。多くの方々より貴重なご浄財を賜りましたこと、本当にありがたく感謝する次第です。今回の修復は当寺の歴史上初めてとなるかと思っております。300年ほどの歴史があり信仰の源でもある本尊様の修復であります。無事、いい修復が施されることを住職として祈念しております。

